


分野	52	水資源	通番 124
施策	521	水資源の保全	
5年後の目標		企業・市民の理解と協力のもと、地下水の適切な利用により、良質な水資源が保全・継承されている。	

概要					
P (概要)	実施計画名称(予算事業名称)		予算科目	決算額(円)	担当課
	地下水の保全事業		会計 款 項 目	—	水道施設課
			公営企業会計		
事業の概要					
地下水を将来にわたり安定した水量で使用していくため、定期的な取水設備の更新と紫外線浄水処理施設の整備を行います。					

平成30年度の取組							
D (取組)	指標	地下水位測定継続				単位	—
	現 状 (計画策定時)	年度	28	29	30	1	2
	取水井戸の 水位測定の実施 《参考》 取水井戸5本の平均静水位 8.05m(平成26年度)	目標	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続	測定の継続
		実績	取水井の水位測定	取水井の水位測定	取水井の水位測定		
<ul style="list-style-type: none"> 取水井戸6本の水位測定を毎月行いました。(取水井戸6本の平均静水位 7.41m) 取水ポンプの入替工事を行いました。 紫外線浄水処理設備の点検整備を行いました。 					井戸入替工事		
							

施策の「5年後の目標」に対する評価					
平成30年度の達成状況					
C (評価)	評価指標	関連する評価指標		評価指標の傾向・トレンド	対応頁
		市内井戸における地下水位回復状況	適正な揚水量を確保することにより前年度に比べ自然水位が回復傾向にあります。揚水量によっては、急激な低下が発生する場合もあり、継続的に観測する必要があります。		211
	達成度合	A: 目標を達成又は上回って達成できた(目標の100%以上)	達成状況	<ul style="list-style-type: none"> 取水井戸の水位測定を毎月行うことで、地下水の状況を把握し、地下水の適正利用が可能となりました。 取水ポンプの入替工事を適宜行うことで、地下水の取水が滞ることなく、必要な揚水量を確保することができました。 紫外線浄水処理施設の点検整備を行うことで、耐塩素性病原菌による地下水汚染の、万一の発生に備えることができ、地下水の継続的な取水が可能となりました。 	
課題等	地下水の水位低下による、地盤沈下及び井戸内の崩壊、水質の悪化等を起こすことが無いように、地下水の適正揚水量を継続して守る必要があります。				

目標達成に向けての次年度以降の対応		
A (行動)	方向性	対応策等
	1: 計画通りに進めることが適当	<ul style="list-style-type: none"> 地下水の保全のため、取水井の水位測定を継続して行います。 地下水の適正揚水量維持のため、取水ポンプの入替工事を適宜行い、紫外線浄水処理施設の整備を継続して行います。